

WS501/WS501 RFID

エンタープライズ向けウェアラブルソリューション



ZEBRA

クイックスタートガイド

2026/02/04

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2026 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/informationpolicy.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

モデル番号

このガイドは、次のモデル番号に適用されます:

- WS5012
- WS5012-R

デバイスの開梱

このトピックでは、デバイスを安全に開梱する方法について説明します。

1. 箱からデバイスを慎重に取り出します。
2. 次のアイテムがパッケージに入っていることを確認します。
 - WS501と1300mAhバッテリー、またはWS501 RFIDと2400mAhバッテリー
 - 取り付けオプション：フィンガーマウント、バックオブハンドマウント、リストマウント
 - 規制ガイド
3. 破損している機器がないかどうかを確認します。不足または破損している機器がある場合は、直ちにZebraサポートにお問い合わせください。
4. デバイスを初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムを剥がしてください。

デバイスの機能

WS501 はウェアラブル コンピュータで、右利きまたは左利きのユーザーに柔軟なハンズフリー操作を提供します。

このデバイスは次の2種類の構成で使用できます。

- スキャナ
- スキャナ + RFID

スキャナの機能

スキャナを人差し指と中指に装着して、親指でトリガを操作します。

正面図

図1 スキャナ

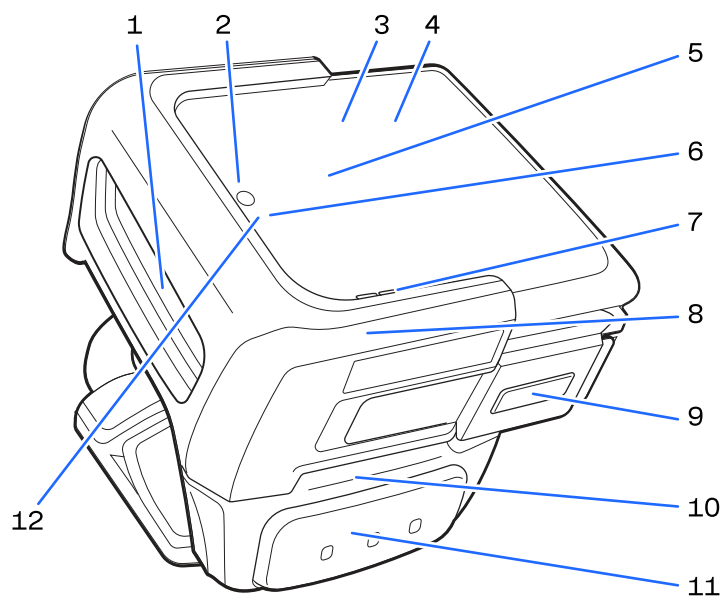
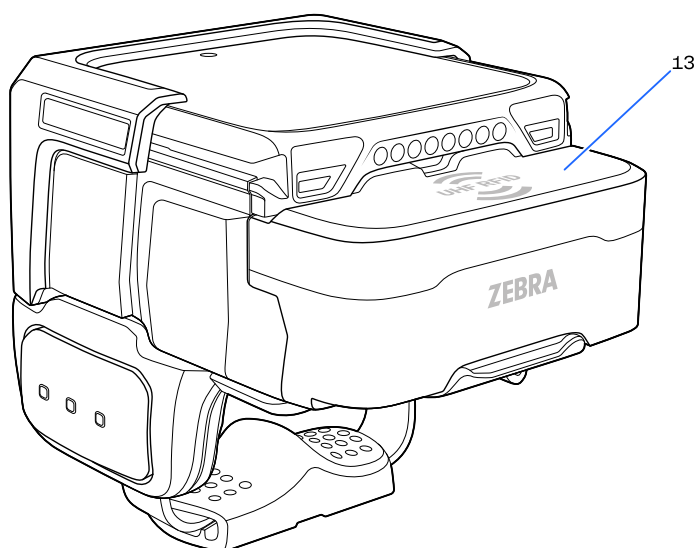


図 2 スキャナ + RFID



1	スキャナウィンドウ	イメージャを使用したデータ収集に使用します。
2	マイク	音声通信または音声の録音に使用します。
3	ディスプレイ	デバイスの操作に必要なすべての情報が表示されます。
4	周辺光センサー (ディスプレイ下)	周辺光を判別してディスプレイバックライトの輝度を調整します。
5	NFCアンテナ (ディスプレイ下)	他のNFC対応デバイスと通信できるようになります。
6	充電LED	充電中はバッテリーの充電状態を示します。
7	スピーカ	音声の通信または再生に使用します。
8	デフレクタ	デバイスを保護します。 注： デフレクタには、レーザーの安全性に関する警告マーク（必須）が付いています。使用時は必ず取り付けてください。
9	左ボタン	ユーザーがプログラム設定可能。デフォルトは Back (戻る) ボタンに設定されています。
10	トリガ アセンブリ	フィンガー ストラップとスキャン トリガで構成されています。取り外して回転させることで、左手でも右手でも使用できます。
11	スキャン トリガ	スキャン対応アプリケーションがアクティブな場合、バーコードデータの収集を開始します。
12	通知 LED	アプリケーション通知が届いたことを示します。
13	RFIDモジュール	RFIDタグ読み取り機能を追加します。

背面図

図3 スキャナ

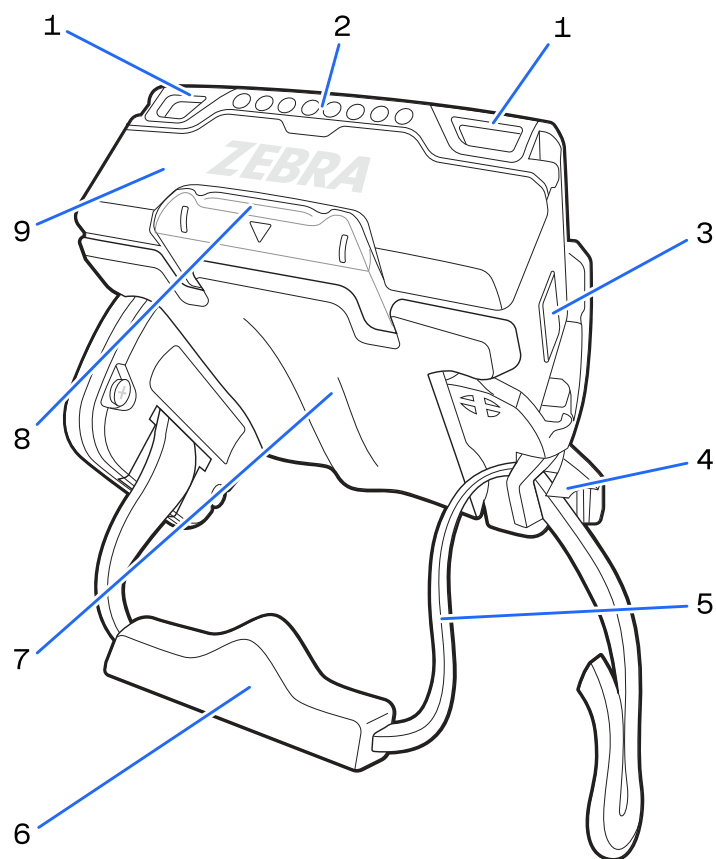
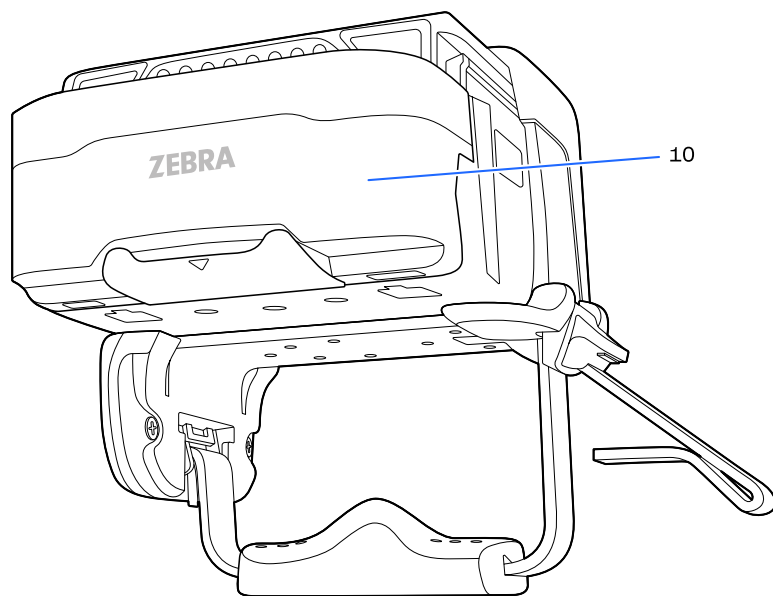


図4 スキャナ + RFID



1	スキャン/カスタム LED	データ キャプチャとカスタム アプリケーション制御ステータスを示します。
2	インタフェースコネクタ	USB ホストとクライアント間の通信、ケーブルとアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。
3	右ボタン	ユーザーがプログラム可能。デフォルトは Home (ホーム) ボタンに設定されています。このボタンを押すと、デバイスの電源がオンになります。
4	ストラップ バックル	指元のフィンガー ストラップを締めたり緩めたりします。
5	フィンガー ストラップ	デバイスを指にしっかりと固定するために使用します。WS501フィンゲーマウントにあらかじめ取り付けられています。
6	フィンガー ウェッジ	ストラップ内で指を保護し、安定させます。
7	フィンガー コンフォート パッド	デバイスと指の間のクッションとなります。
8	シェル リリース タブ	このタブを押して、デバイスをシェルから取り出します。
9	バッテリー	大容量1300mAhバッテリーはWS501デバイスに電力を供給し、2400mAhバッテリーはWS501 RFIDデバイスに電力を供給します。
10	RFIDモジュール	RFIDタグ読み取り機能を追加します。

デバイスのセットアップ

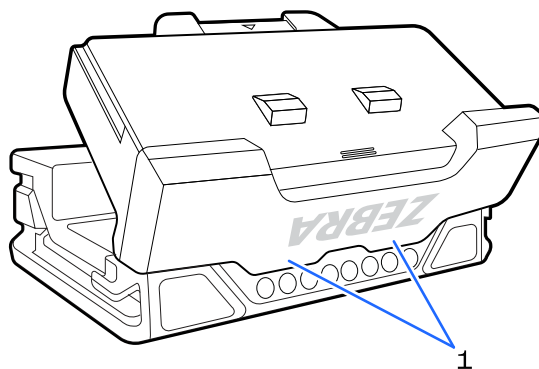
このセクションでは、デバイスをセットアップして、スムーズかつ迅速に使用を開始する方法について説明します。

1. バッテリーを取り付けます。
2. いずれかの充電アクセサリを使用して、デバイスを充電します。
3. デバイスの電源をオンにします。

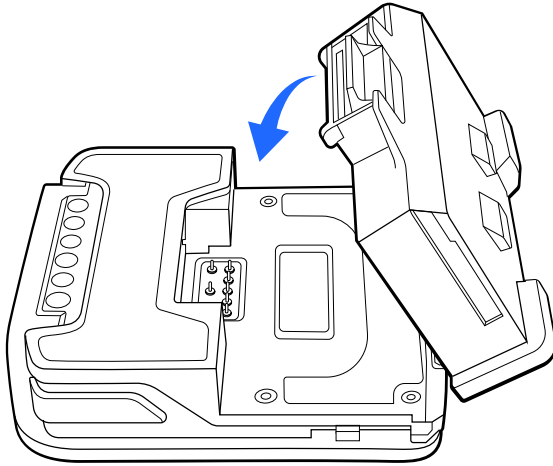
WS501スキャナへのバッテリーの取り付け

1300mAhバッテリーをWS501スキャナに取り付けます。

1. バッテリーの底面がロック スロット (1) にかみ合うように、バッテリーの位置を合わせます。



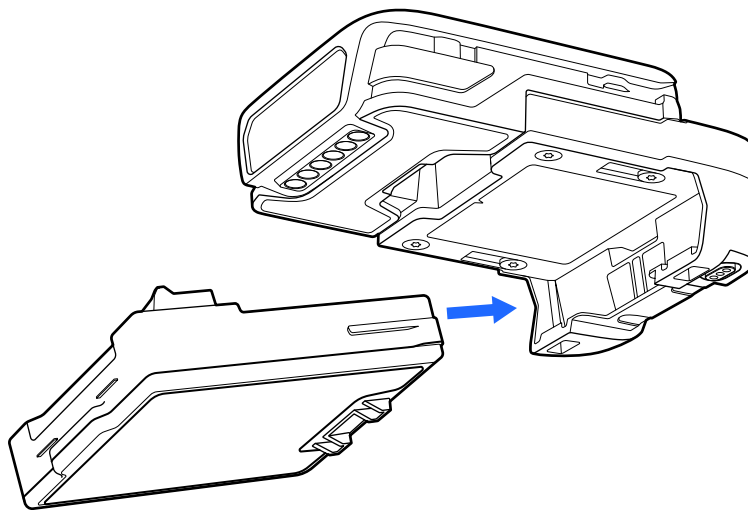
2. バッテリリリースラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し下げます。



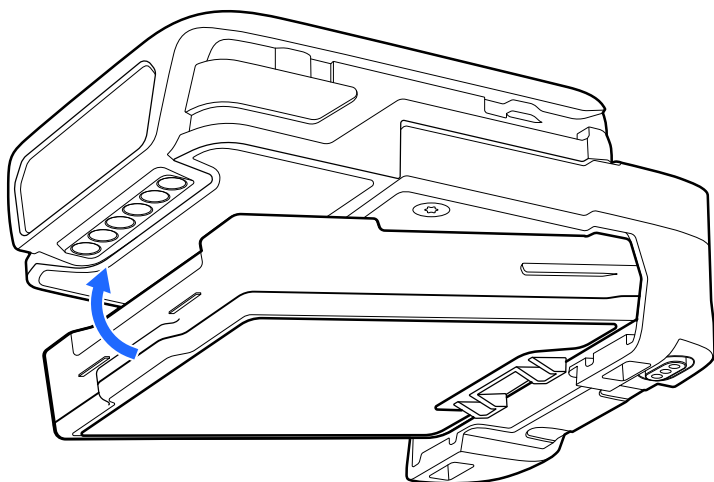
WS501 RFIDスキャナへのバッテリーの取り付け

2400mAhバッテリーをWS501 RFIDスキャナに取り付けます。

1. バッテリーの底面がロックスロットにかみ合うように、バッテリーの位置を合わせます。



2. カチッと音がして所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し込みます。



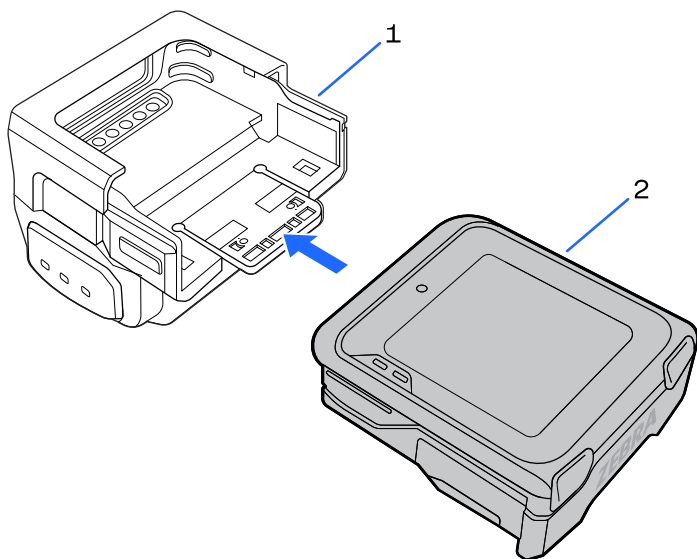
スキャナへのトリガ／シェルアセンブリの取り付け

デバイスをトリガ／シェルアセンブリに取り付けて、親指でトリガを操作します。

1. デバイスのタッチパネルが上を向いていることを確認します。
2. デバイス (2) をトリガ／シェルアセンブリ (1) にスライドさせて、シェルリリース ラッチが所定の位置にカチッと収まるまで押し込みます。



注：デバイスにバッテリーを取り付けてから、デバイスをシェルにスライドさせます。



フィンガーマウントのトリガ位置の変更

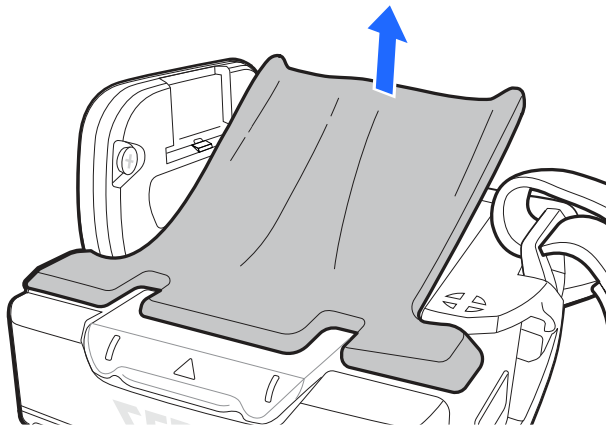
トリガ アセンブリは向きを変えられるため、右手でも左手でも使用できます。

WS501を左右どちらの手で使用するかを決めて、スキャントリガが親指の横に来るようにします。



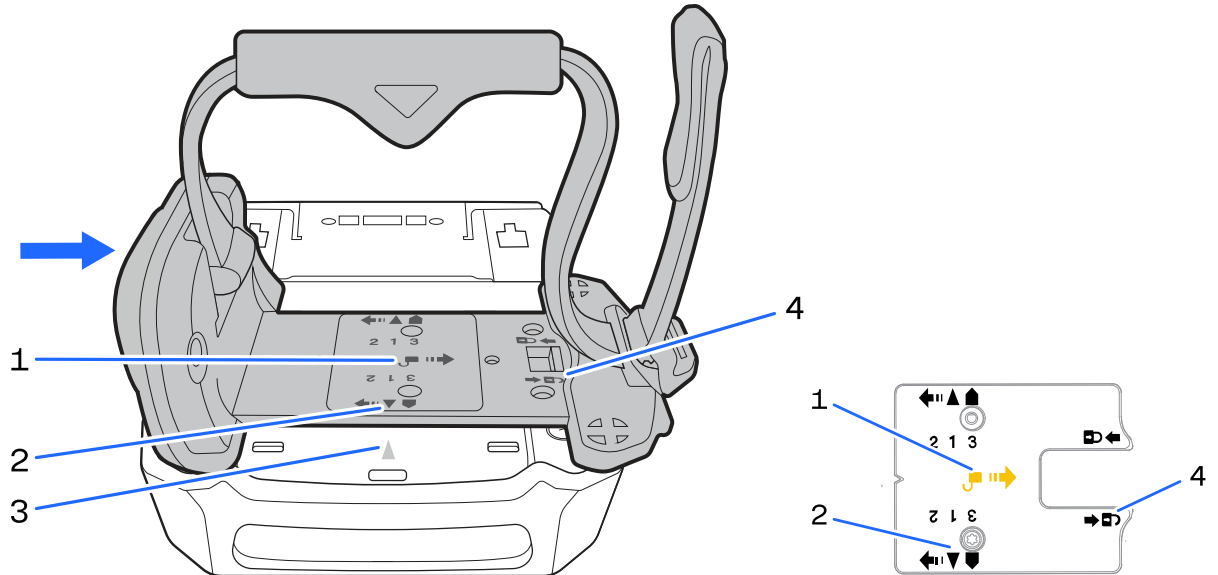
注：ここで説明する手順は、右利きと左利きの両ユーザーに適用できます。例として、このセクションの図はトリガの位置を右から左に変更する手順を示しています。

1. デバイスの底面で、デバイス前方からフィンガー コンフォート パッドを持ち上げて、背面から取り外します。

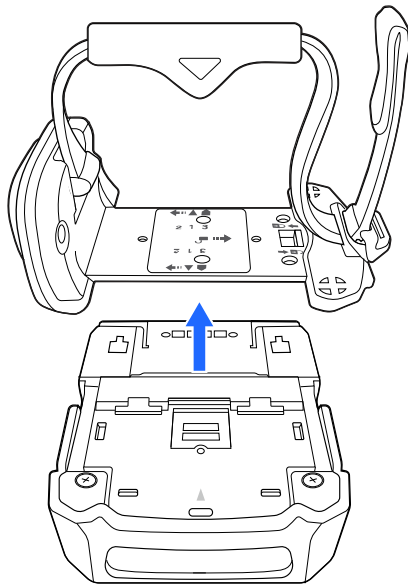


2. デバイスの背面にある指示に従って、トリガ アセンブリを取り外します。

- a) リリース ラッチをアンロック (4) 方向に押して、トリガ アセンブリをロック解除します。
- b) 黒い三角形 (2) が刻印された三角形 (3) に揃うまで、アンロック (1) 方向にトリガ アセンブリをスライドさせます。

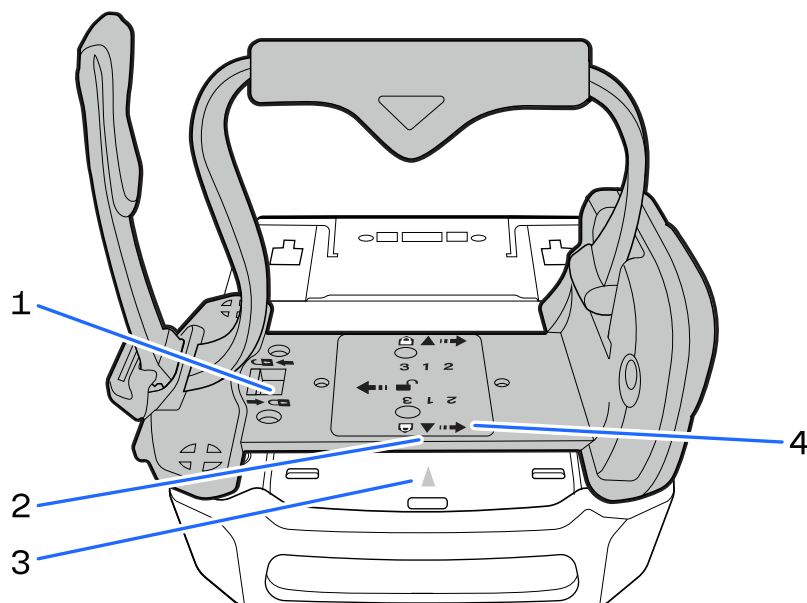


c) トリガ アセンブリを持ち上げます。



3. スキャントリガが親指の横に来るようにトリガアセンブリを配置します。

4. トリガ アセンブリをシェルのコアの背面に取り付ける際は、黒い三角形 (2) が刻印された三角形 (3) と揃っていることを確認します。



5. トリガ アセンブリをロック (4) 方向にスライドさせます。
 6. ラッチをロック (1) 位置に押してトリガアセンブリをロックします。
 7. フィンガー コンフォート パッドをデバイスの底面に再度取り付けます。

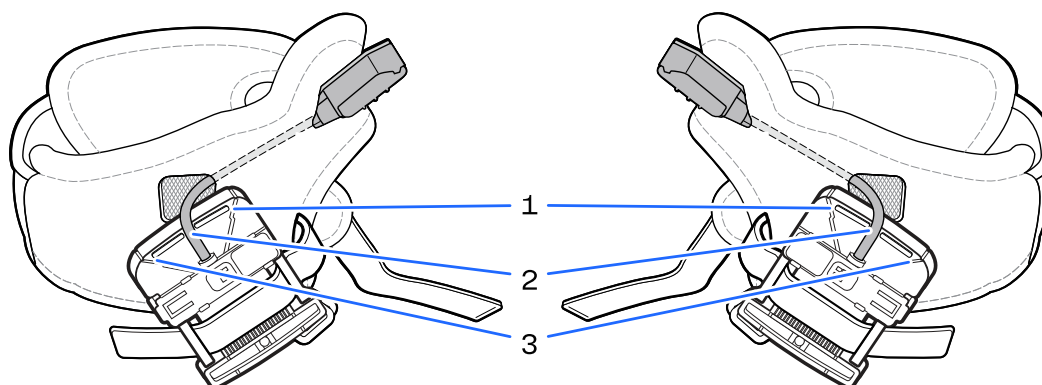
手の甲マウントの取り付け

手の甲 (BOH) マウントをハンドラップに取り付けて、デバイスをシェルにセットしてからBOHマウントに取り付けます。

デバイスを左右どちらの手に装着するかを決めます。



注：手順の説明は、右利きと左利きのどちらのユーザーにも当てはまります。このセクションの手順では、例として右利きラップを使用します。



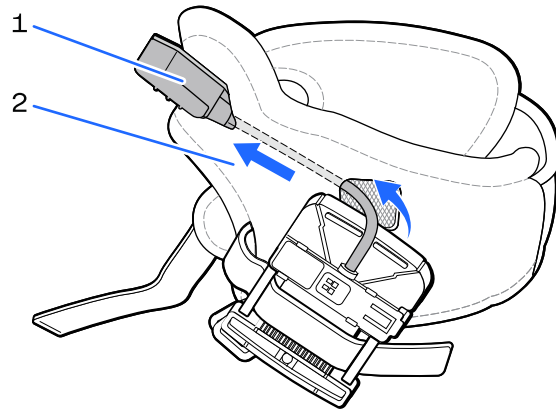
BOHマウントには、トリガケーブルを配置するためのスロットが3つあります。トリガケーブルを手の大きさに応じてスロットの1つに挿入します。

1	手の大きなユーザー向け
---	-------------

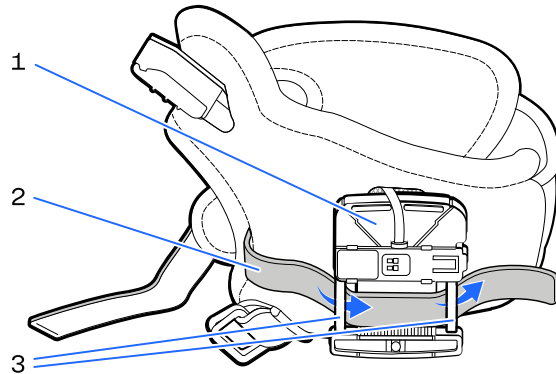
2	手が標準サイズのユーザー向け
3	手の小さなユーザー向け

1. BOH マウントをハンド ラップに取り付けるには、次の手順に従います。

a) トリガ ケーブルとボタン (1) を、ハンド ラップ (2) のトリガ スロットに差し込みます。

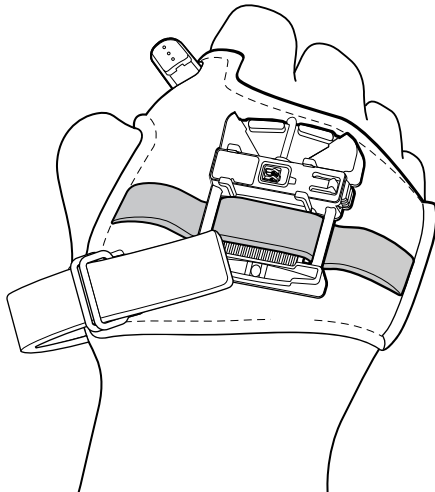


b) ストラップ (2) を BOH マウント (1) のストラップ スロット (3) のいずれかに通します。

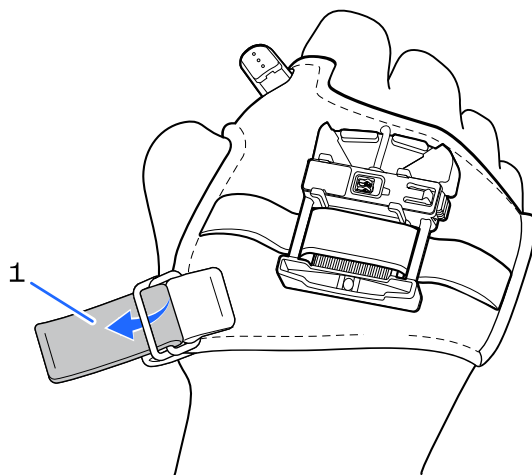


c) ストラップをマウントのもう一方のスロットに通して、フックとループ固定具で固定します。

2. ハンド ラップに手を通して、小さい方の穴に親指を、大きい方の穴に残りの 4 本の指を通して、ハンド ラップを手の甲の上に置きます。

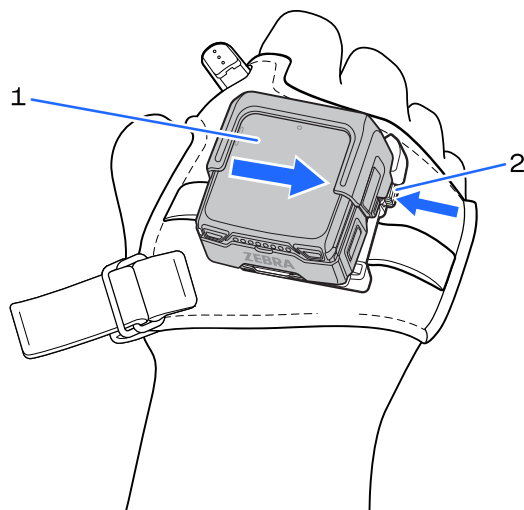


3. ストラップ (1) をバックルに通して、フックとループ固定具でストラップの端を所定の位置に固定します。



ストラップを締めたり緩めたりして、快適な位置に調整してしっかりと固定します。

4. 親指が簡単に届く位置にトリガボタンを配置して、フックとループ固定具によってハンドラップに固定します。
5. シェル内のデバイス (1) を BOH マウントにスライドさせます。取り付けるときは、BOH マウント ボタン (2) を押します。



デバイスが BOH マウントの所定の位置に収まったら、ボタン (2) を放します。

6. BOH マウントをハンド ラップの上に再配置して、マウントの位置を中指の第 2 関節に合わせます。
7. 必要に応じて、ハンド ラップのストラップを締めるか緩めます。

シェルのデバイスを BOH マウントから取り外すには、BOH マウント ボタンを押してシェルのデバイスを BOH マウント ボタンからスライドさせて外します。

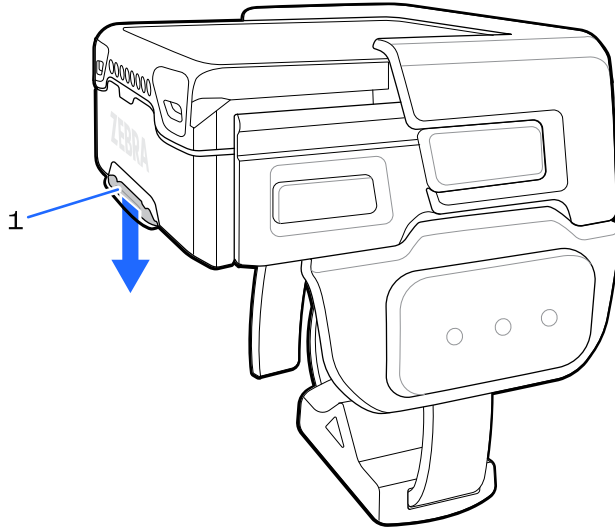


注： 詳細については、『WS501/WS501 RFID 製品リファレンスガイド』を参照してください。

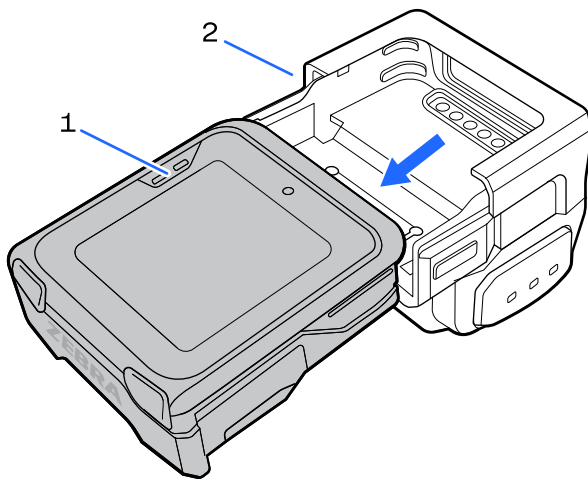
トリガ／シェルアセンブリの取り外し

バッテリーを交換する場合は、トリガ／シェルアセンブリからデバイスを取り外します。

1. シェルリリースタブ (1) を押し下げます。



2. デバイス (1) をスライドさせて、トリガ／シェルアセンブリ (2) から取り外します。



WS501バッテリーの交換

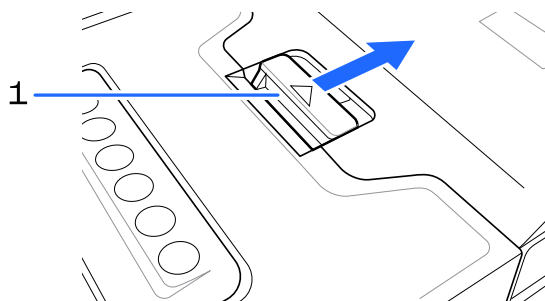
デバイスはホットスワップモードをサポートしているため、デバイスの電源を切らずにバッテリーを交換できます。シェルからデバイスを取り外すと、ディスプレイがオフになり、デバイスが低電力状態になります（スキャン／カスタムLEDの赤の点滅1回で示されます）。メモリ内容を保持するために、2分以内にバッテリーを交換してください。

1. ウェアラブル アセンブリを取り外します。

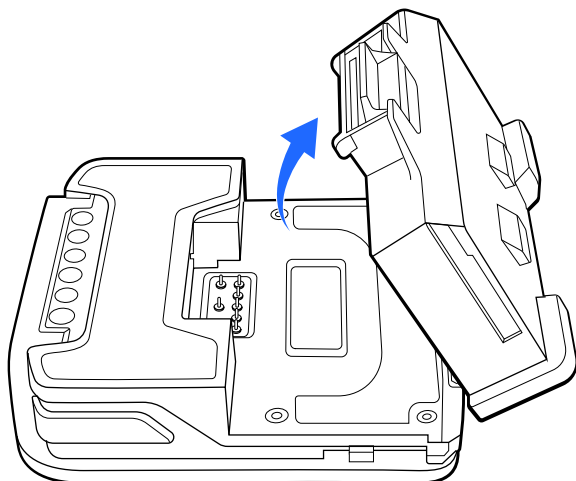
フィンガートリガの取り外しについては、『[トリガ／シェルアセンブリの取り外し](#)』を参照してください。

2. タッチ スクリーンが下向きになるようにデバイスを回転させます。

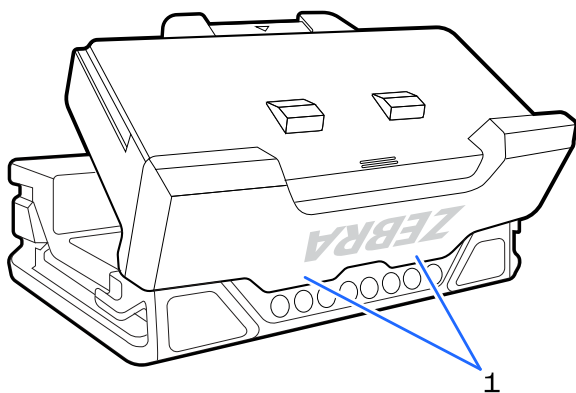
3. バッテリー リリース ラッチ (1) を押します。



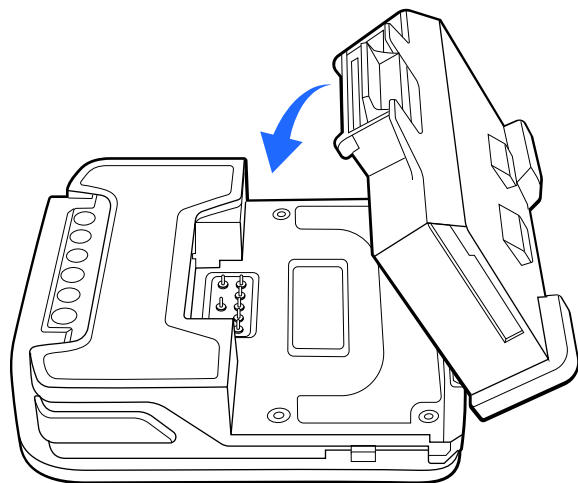
4. バッテリーをバッテリー収納部から取り外します。



5. バッテリーの底面がロック スロット (1) にかみ合うように、バッテリーの位置を合わせます。



6. バッテリーリリースラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し下げます。



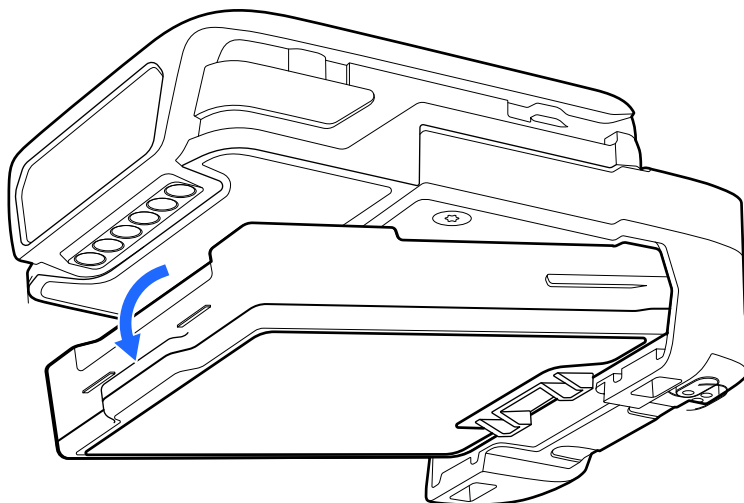
WS501 RFIDバッテリーの取り外し

このセクションでは、WS501 RFIDバッテリーの取り外し方法について説明します。

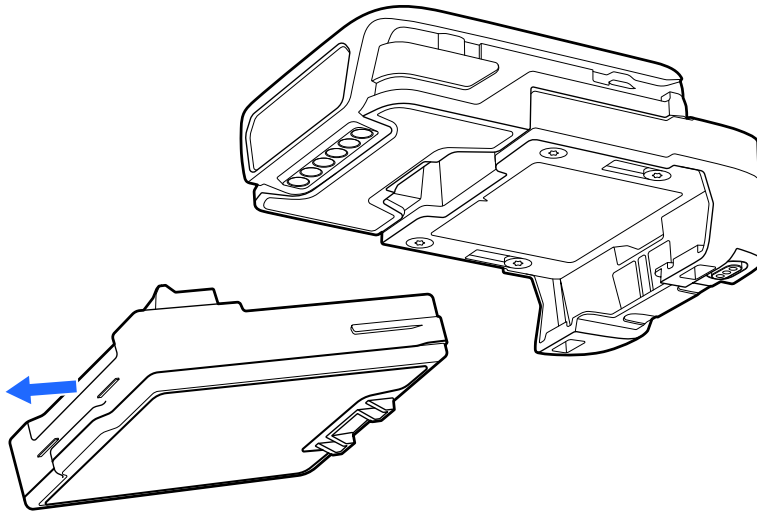
1. ウェアラブル アセンブリを取り外します。

フィンガートリガとリストマウントアセンブリの取り外しについては、[トリガ／シェルアセンブリの取り外し](#)を参照してください。

2. サポート スロット内のバッテリーを斜めに傾けて外します。



3. バッテリーを持ち上げてバッテリー収納部から取り外します。



デバイスのナビゲーション

このセクションでは、画面間を移動する方法とデバイスの機能にアクセスする方法について説明します。

戻る

画面の左端または右端からスワイプすると、前の画面に戻ります。

図5 左にスワイプ

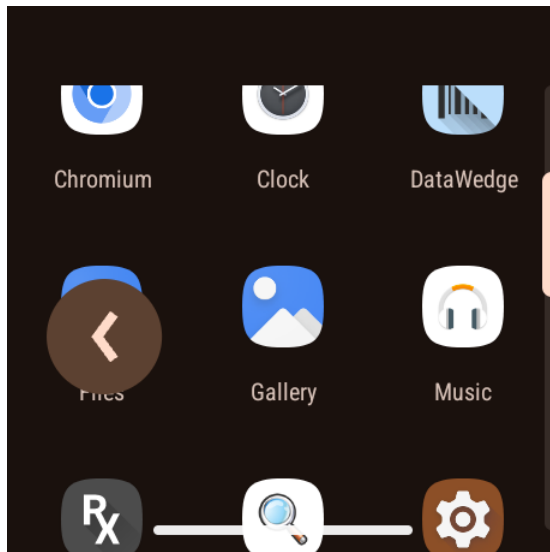
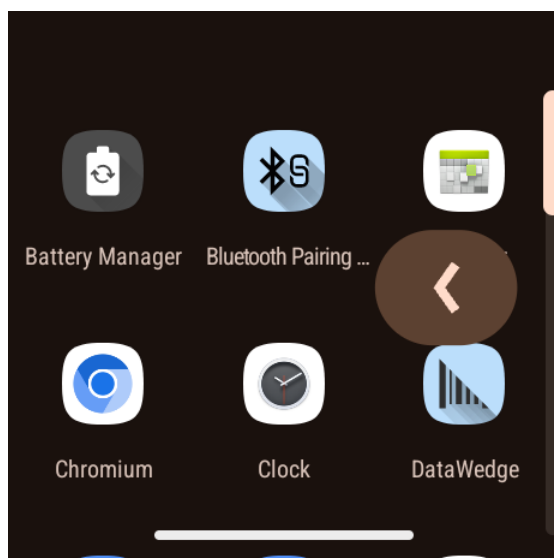


図 6 右にスワイプ



ホーム画面に移動

画面の一番下から上にスワイプし、ホーム画面に戻ります。

図 7 すべてのアプリケーション

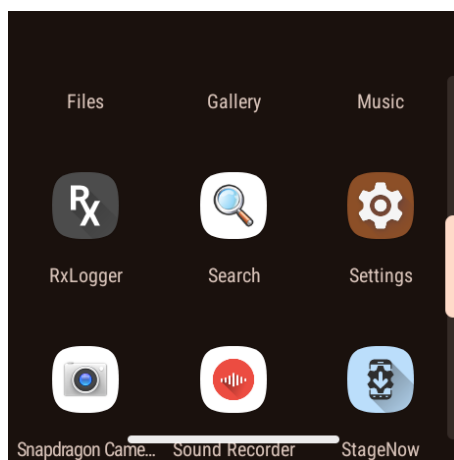
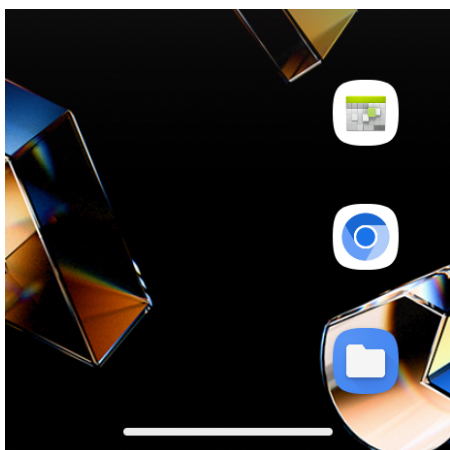


図 8 ホーム画面



注：デフォルトでは、ホーム画面の回転は無効になっています。

すべてのアプリケーションを検索

画面の中央（1）から上にスワイプして、インストールされているすべてのアプリケーションを確認します。

図 9 ホーム画面

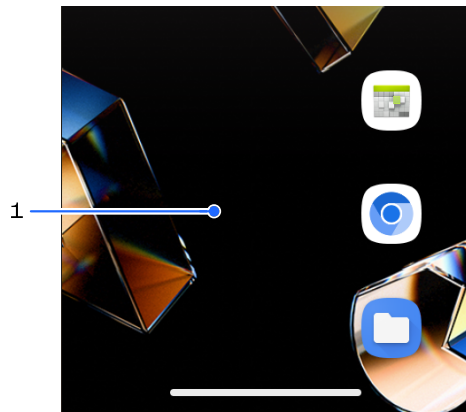
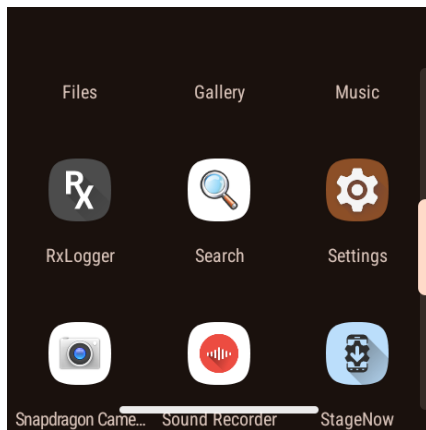


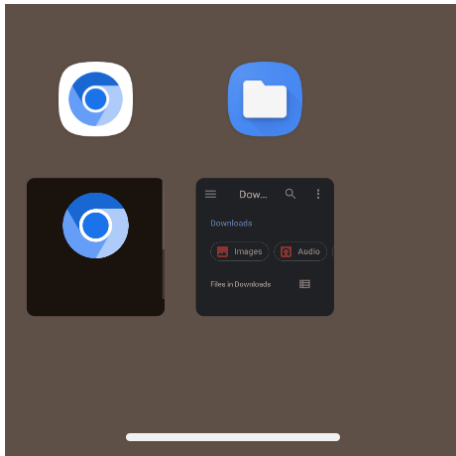
図 10 すべてのアプリケーション



すべてのオープンアプリケーションを検索

下から上にスワイプし、押さえてから放して、すべてのオープンアプリケーションを表示します。

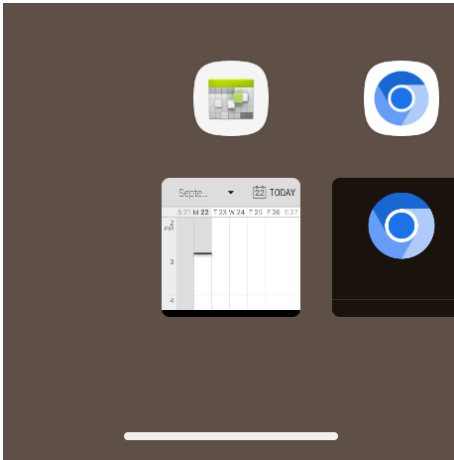
図 11 オープンアプリケーション



オープンアプリケーション間の切り替え

画面の一番下で、左から右にスワイプします。

図 12 オープンアプリケーション

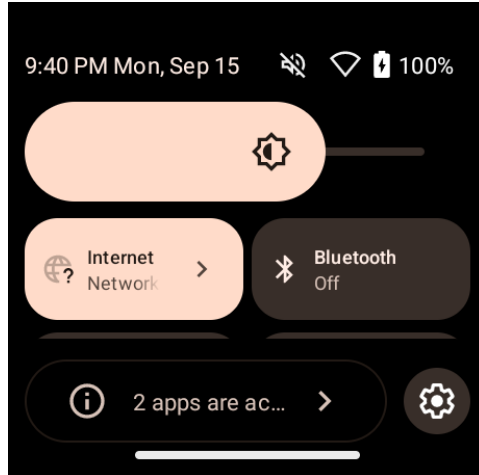


クイックアクセスパネルを開く

クイックアクセスパネルを使用して、頻繁に使用する設定（Bluetooth、画面の輝度など）にアクセスします。

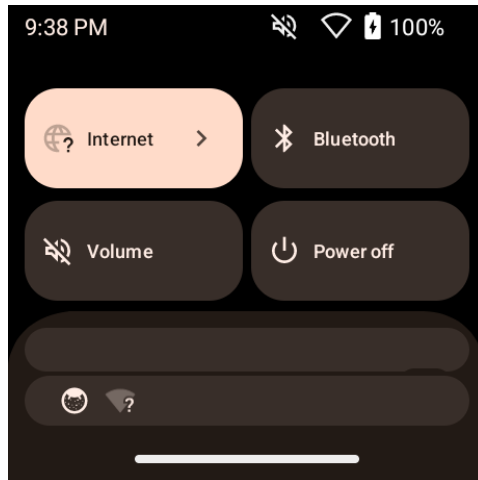
- デバイスがロックされている場合は、下に1回スワイプしてクイックアクセスパネルにアクセスします。

図 13 クイックアクセスパネル



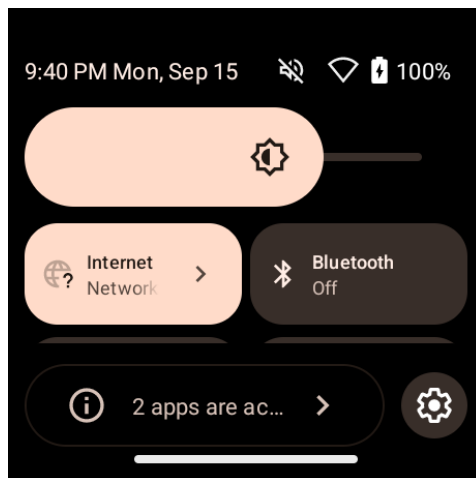
- デバイスのロックが解除されている場合：
- 通知パネルが表示されるまで下に1回スワイプします。

図 14 通知パネル



- もう一度下にスワイプして、クイックアクセスパネルにアクセスします。

図 15 クイックアクセスパネル



デバイスの充電

デバイスを初めて使用する場合は、使用前に外部電源に接続して、完全に充電されるまで接続したままにしてください。デバイスが完全に充電されると、充電インジケータのLEDが緑色で点灯します。

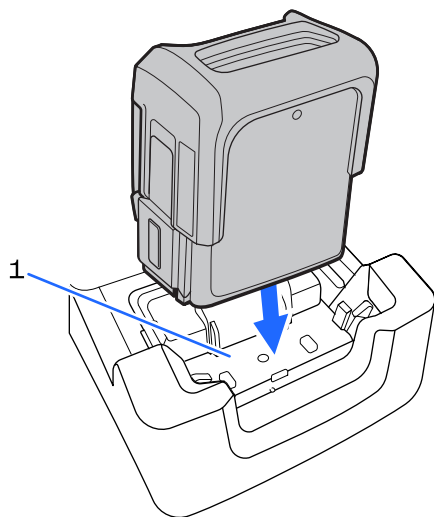
メイン バッテリーの充電

充電専用クレードルまたは USB 充電ケーブルのいずれかを使用して、デバイスのバッテリーを充電します。



注意： WS501/WS501 RFID製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

1. 電源に充電器を接続します。
2. デバイスをクレードル スロット (1) に挿入するか、USB 充電ケーブルを接続します。

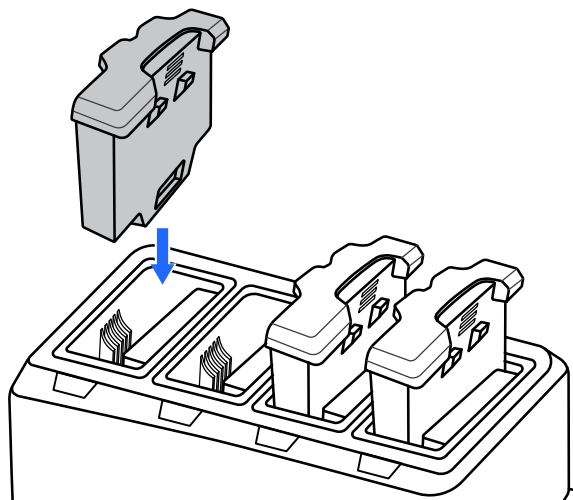


デバイスがオンになり充電が開始されます。充電中はタッチパネルの通知LEDが黄色になり、充電が完了すると緑色に点灯します。

予備バッテリーの充電

バッテリー充電器の1つを使用して、予備バッテリーを充電します。

1. 電源に充電器を接続します。
2. バッテリーをバッテリー受けに差し込みます。



3. 正しく接触するように、バッテリーをゆっくり押し下げます。

バッテリー充電器の予備バッテリー充電 LED は、バッテリーの充電の状態を示します。

充電インジケータ

クレードル カップの予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電の状態を示します。

表 1 予備バッテリー充電 LED インジケータ

状態	説明
オフ	バッテリーが充電されていません。バッテリーが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。クレードルに電力が供給されていません。
琥珀色点灯	正常なバッテリーが充電中です。
緑色点灯	正常なバッテリーの充電が完了しました。
赤色の速い点滅（点滅2回/秒）	充電エラー。次のような場合に、この状態になります。 ・ 温度が低すぎるか、または高すぎる。 ・ 充電完了までの時間が長すぎる（通常は8時間）。
赤色点灯	異常バッテリーが充電中か、フル充電されています。

充電時の温度

バッテリーを充電できる温度環境は、0°C～40°C（32°F～104°F）です。デバイスまたはクレードルは常に、安全かつインテリジェントにバッテリー充電を実行します。高温時には（例：約37°C／98°F以上）、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に短時間で交互に切り替えて、バッテリーを許容温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスとクレードルのLEDにエラーが表示されます。

充電アクセサリ

デバイスおよび／または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表 2 充電アクセサリ

アクセサリ	部品番号	充電中		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備 バッテリー	USB	イーサ ネット
PD 12W電源	PWR-WUA5V12W0XX	あり	あり	なし	なし
WS501および／または1300mAhバッテリー					
USB充電ケーブル	CBL-WS5X-USB1-02	あり	なし	あり	なし
2スロット充電専用クレードル	CRD-WS5X-2SRD-01	あり	なし	なし	なし
10スロット充電専用クレードル	CRD-WS5X-10SRD-01	あり	なし	なし	なし
4スロットバッテリー充電器	SAC-WS5X-4S13-01	なし	あり	なし	なし
20スロットバッテリー充電器	SAC-WS5X-20S13-01	なし	あり	なし	なし
WS501 RFIDおよび／または2400mAhバッテリー					
USB充電ケーブル	BL-WS5X-USBA-01	あり	なし	あり	なし

表 2 充電アクセサリ (Continued)

アクセサリ	部品番号	充電中		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備 バッテリー	USB	イーサ ネット
2スロット充電専用クレードル	CRD-WS5X-2SRD-01	あり	なし	なし	なし
10スロット充電専用クレードル	CRD-WS5X-10SRD-01	あり	なし	なし	なし
4スロットバッテリー充電器	SAC-WS5X-4S24-01	なし	あり	なし	なし
20スロットバッテリー充電器	SAC-WS5X-20S24-01	なし	あり	なし	なし



注：PWR-WUA5V12W0XXでは、XXを次のいずれかに置き換えて、地域に合ったタイプのプラグを見つけます。AR（アルゼンチン）・AU（オーストラリア）・BR（ブラジル）・CN（中国）・EU（欧州連合）・GB（英国）・IN（インド）・KR（韓国）・LA（中南米）・US（米国）

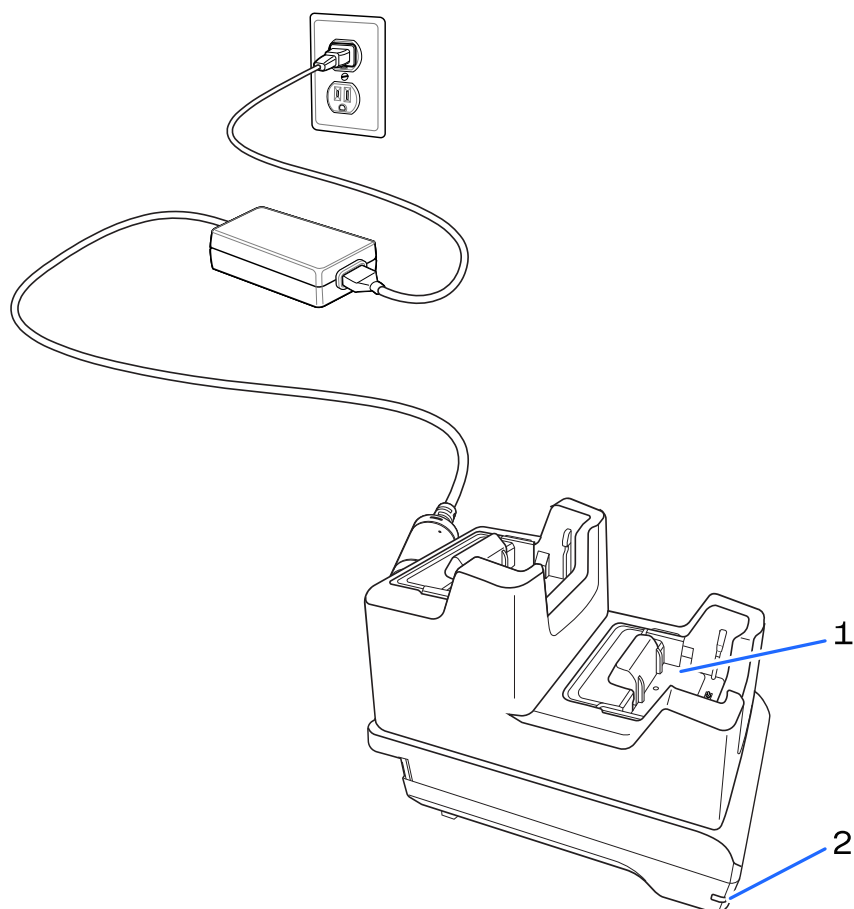
2スロット充電専用クレードル

2スロット充電専用クレードルは、デバイスの動作に必要な12VDCの定格電力を供給し、デバイスのバッテリーを充電します。



注意：『WS501/WS501 RFID製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図 16 2スロット充電専用クレードル



1	デバイスの充電スロット
2	電源LED



注：スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

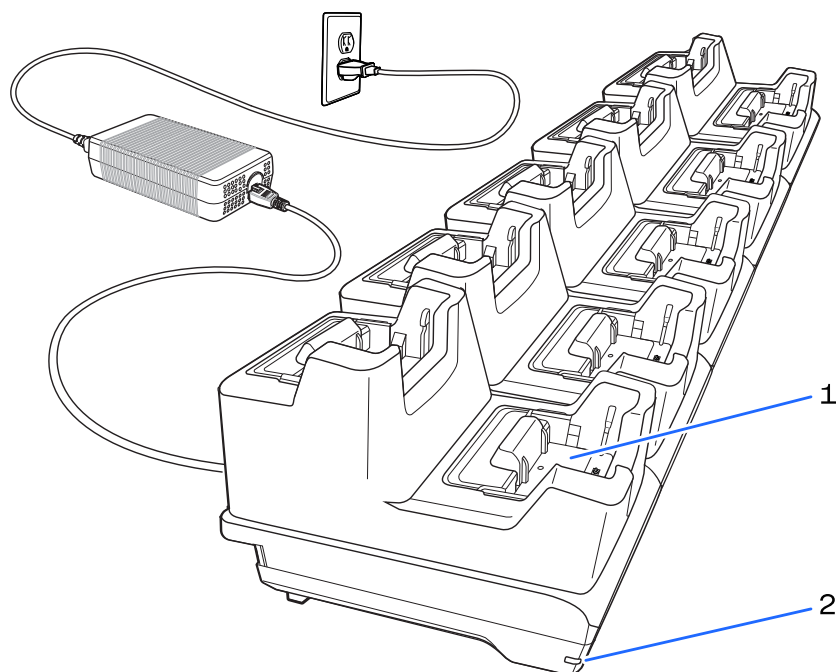
10スロット充電専用クレードル

10スロット充電専用クレードルは、デバイスの動作に必要な12VDCの定格電力を供給し、デバイスのバッテリーを充電します。



注意：『WS501/WS501 RFID製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図 17 10スロット充電専用クレードル



1	デバイスの充電スロット
2	電源LED



注：スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

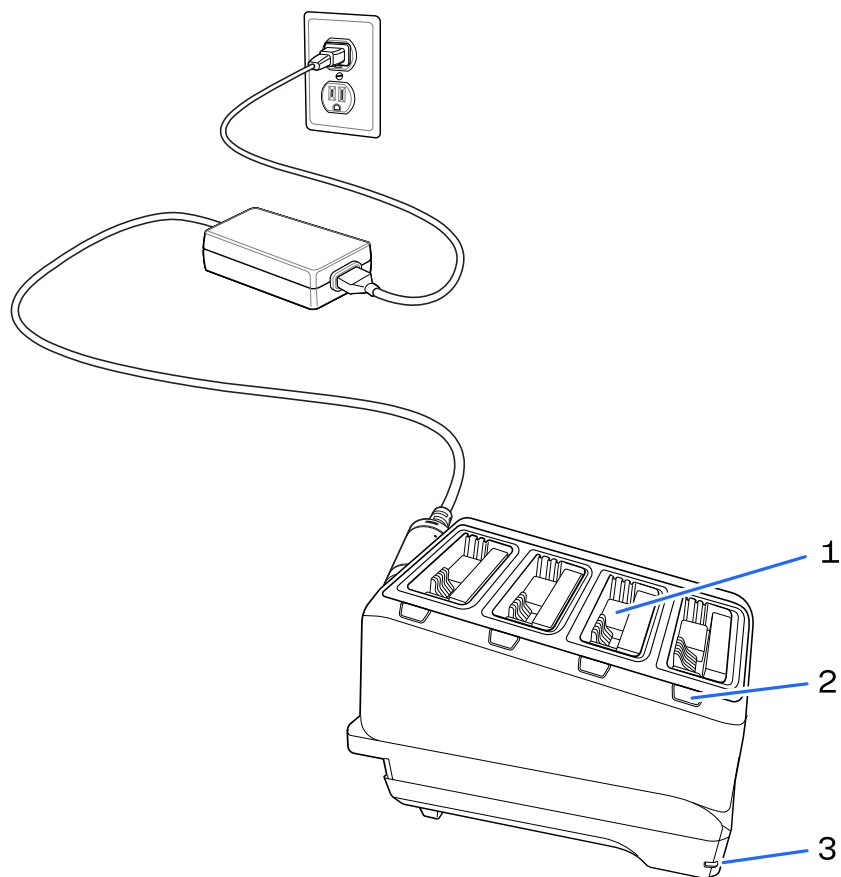
4スロットバッテリー充電器

4 スロット バッテリー充電器では、最大 4 個の予備バッテリーを充電できます。



注意：『WS501/WS501 RFID製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図 18 4スロットバッテリー充電器



1	バッテリースロット
2	バッテリー充電LED
3	電源LED



注：バッテリーを充電するには、バッテリーをスロットに正しく挿入します。

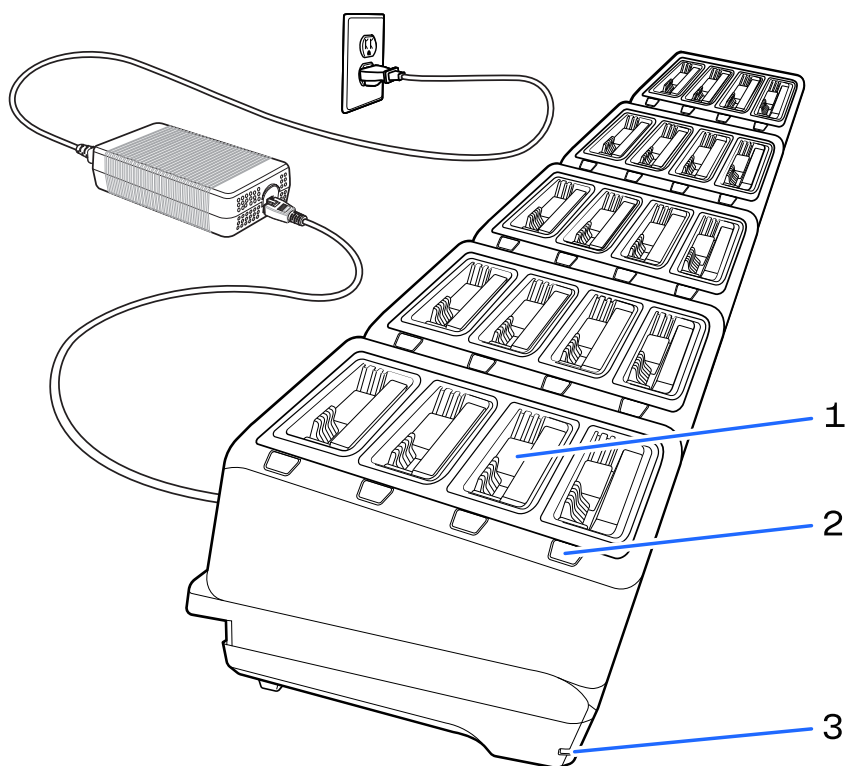
20 スロット バッテリー充電器

20 スロット バッテリー充電器では、最大 20 個の予備バッテリーを充電できます。



注意： #WS501WS501 RFID製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図 19 20 スロット バッテリー充電器



1	バッテリースロット
2	バッテリー充電LED
3	電源LED



注：バッテリーを充電するには、バッテリーをスロットに正しく挿入します。

USB 充電ケーブル

USB充電ケーブルはデバイスの底面に取り付け。使用しないときは簡単に取り外せます。ケーブルによってデバイスを充電して、ホスト コンピュータへのデータ転送が可能になります。

図 20 電源に接続する

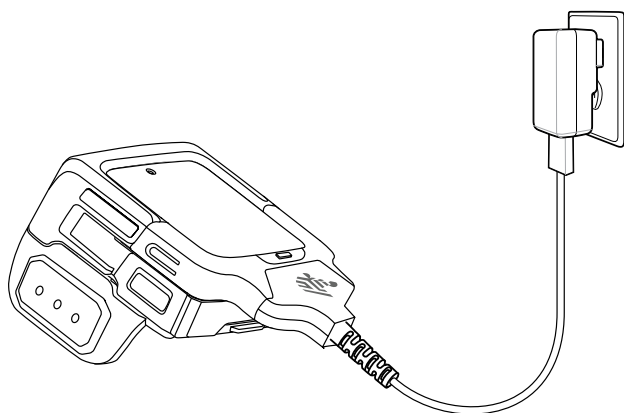
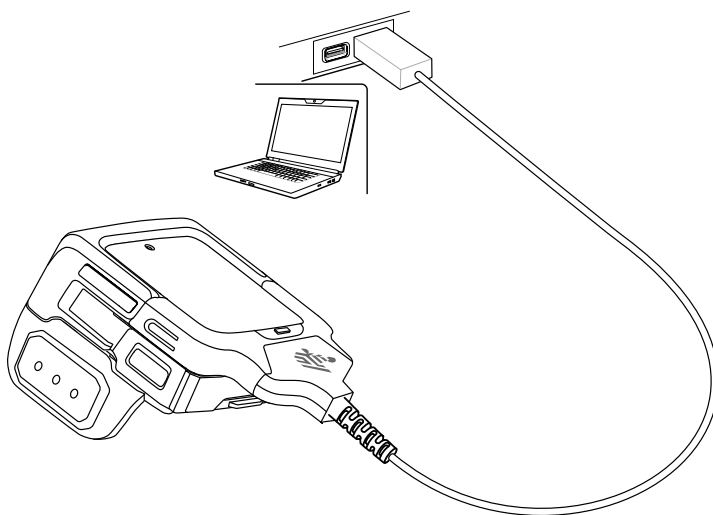


図 21 コンピュータに接続する



スクリーン保護シートを使用したデバイスのメンテナンス

デバイスには、スクリーン保護シートが貼られています。スクリーン保護シートを使用すると、スクリーンのキズや磨耗を低減させることができます。これにより、タッチスクリーンの寿命が延びます。保護シートを使用する利点は以下のとおりです。

- スクリーンを保護し、キズを防ぐ。
- スタイラスの使用によるスクリーン表面の感度低下を防ぐ。
- 磨耗や薬品からスクリーンを保護する。
- 光の反射を抑える。
- スクリーンを新品同様の状態に保つ。
- 迅速かつ簡単に取り付けられる。

人間工学に基づく推奨事項

人間工学上の被害を受けるリスクを回避または最小限に抑えるため、人間工学に基づく推奨事項に従ってください。

- ユーザーがデバイスを正しく安全に指に取り付けるためのトレーニングを受けていることを確認します。
- フィンガーコンフォートパッドが所定の位置にあり、ストラップバックルを使用してデバイスが指に正しく固定されていることを確認します。
- ディスプレイがユーザーの方に向くようにデバイスが取り付けられていることを確認します。
- ストラップ、織物類などのウェアラブルコンポーネントを保守し、洗浄します。
- 不要な反復動作や起動を減らすか、排除します。
- 自然な姿勢を保ちます。
- 腕や肩を持ち上げる動作または持ち上げた状態を少なくするか、なくします。
- 過度に力を入れる動作や力が入った状態を減らすか、なくします。
- 頻繁に使用する物は、手の届きやすい場所に置いておきます。
- 正しい高さで作業を行います。
- 直圧を減らすか排除します。
- 十分な距離を確保します。
- 適切な作業環境を用意します。
- デバイスを使用して作業手順を改善します。

